

教員養成講座 ①

2020 5/14 (木)

担当：新里文隆

【1】 沖縄の歴史と文化

1 程順則が中国から持ち帰った道德書は何か。次の①～⑤から選びなさい。

- ①『手水の縁』 ②『貧家記』 ③『六諭衍義』 ④『御教条』 ⑤『歴代宝案』

2 15世紀中頃の勝連城主は誰か。次の①～⑤から選びなさい。

- ① 護佐丸 ② 阿麻和利 ③ 尚泰久 ④ 尚円金丸 ⑤ 尚巴志

3 琉球に唐芋（サツマイモ）をひろめ、木綿織りや砂糖の製法を伝えるなど産業の発展に大きな功績を残した人物は誰か。次の①～⑤から選びなさい。

- ① 宜湾朝保 ② 蔡温 ③ 平敷屋朝敏 ④ 玉城朝薫 ⑤ 儀間真常

4 組踊りを創設した玉城朝薫の作品でないのは何か。次の①～⑤から選びなさい。

- ① 執心鐘入 ② 銘苺子利 ③ 若草物語 ④ 女物狂い ⑤ 孝行の巻

5 「万国津梁の鐘」をつくった琉球国王は誰か。次の①～⑤から選びなさい。

- ① 尚敬 ② 尚順 ③ 尚泰久 ④ 尚真 ⑤ 尚寧

6 「恨む比謝橋や わぬ渡さと思て 情ないぬ人の かけておきやら」は誰の琉歌か。次の①～⑤から選びなさい。

- ① 吉屋チル ② 恩納ナベ ③ 平敷屋朝敏 ④ 玉城朝薫 ⑤ 田里朝直

7 五つの緋（かすり）と四つの緋交互に組み合わされた図柄で「いつの世までも、足しげくおいでください」との意味がこめられている織物は何か。次の①～⑤から選びなさい。

- ① 与那国織 ② 読谷山花織 ③ 久米島紬 ④ 八重山ミンサー ⑤ 芭蕉布

8 沖縄の世界遺産の登録名として正しいものを、次の①～⑤から選びなさい。

- ① 沖縄のグスク及び関連遺産群
② 沖縄のグスク及び文化的景観群
③ 琉球王国のグスク及び文化的景観群
④ 琉球王国のグスク及び関連遺産群
⑤ 琉球のグスク及び関連遺産群

- 9 王府の正史で、琉球各地でおこった出来事を記録したものを何というか。
次の①～⑤から選びなさい。
- ① 『球陽』 ② 『中山世鑑』 ③ 『六諭衍義』
④ 『混交験集』 ⑤ 『琉球由来記』
- 10 国指定重要無形民俗文化財でないのは何か。 次の①～⑤から選びなさい。
- ① 多良間の豊年祭 ② 安田のシヌグ ③ 宮古島のパーントゥ
④ 塩屋湾のウンガミ ⑤ 清明祭
- 11 琉球初の歴史書となる『中山世鑑』を編集した人物は誰か。 次の①～⑤から選びなさい。
- ① 蔡温 ② 平敷屋朝敏 ③ 程順則 ④ 玉城朝薫 ⑤ 羽地朝秀
- 12 1711年にまとめられた琉球の古語辞典を何というか。 次の①～⑤から選びなさい。
- ① 『おもろそうし』 ② 『中山世譜』 ③ 『琉球由来記』
④ 『混交験集』 ⑤ 『琉球科律』
- 13 識名盛命による随筆で、沖縄最古の擬古文体作品を次の①～⑤から選びなさい。
- ① 『苔の下』 ② 『執心鐘入』 ③ 『思出草』
④ 『手水の縁』 ⑤ 『若草物語』
- 14 沖縄の伝統的な型染めで、布地に1枚の型紙を用いて糊(のり)を置き、顔料や染料で彩色し多彩な絵画風の文様を表す沖縄の型染を何というか。 次の①～⑤から選びなさい。
- ① 首里の織物 ② 紅型 ③ 芭蕉布 ④ 久米島紬 ⑤ 八重山ミンサー
- 15 1420年代に護佐丸によって築かれた。二の郭(かく)の城門は現存する最古のアーチ門と考えられているこのグスクを何というか。 次の①～⑤から選びなさい。
- ① 今帰仁城址 ② 中城城址 ③ 勝連城址
④ 南山城址 ⑤ 座喜味城址

◇ 教育心理・教育史

【2】 次の文の（ ）に入る適切な語句や人物を次の①～⑤から選びなさい。

- 1 () は、人間の成長・発達について、遺伝的に決まったものと与えられた環境のなかで経験を重ねることの両方の相互作用を強調し、輻輳説を提唱した。
- ① アドラー ② ボウルビィ ③ シュテルン ④ フロイト ⑤ ワトソン
- 2 () は迷路学習の研究において、報酬に至る経路を学習したネズミが、その経路をふさがれたとき別の経路を選択した行動を見いだしたことから、これを認知地図と名付けた。
- ① ケーラー ② スキナー ③ ソーンダイク
④ パブロフ ⑤ トールマン
- 3 教育や学習が効果的に行えるような発達の素地を（ ）という。
- ① レディネス ② ラポール ③ リビドー
④ カタルシス ⑤ ハロー効果
- 4 経験したことが記憶として取り込まれることを（ ）という。
- ① 保持 ② 記銘 ③ 再生 ④ 再認 ⑤ 再構成
- 5 未完成文章あるいは、短文を刺激として提示し、そこから思いつくこと、感じたことを自由に記述して文章を完成させてその内容から性格を査定する性格検査を（ ）という。
- ① MMP I ② HTP ③ P-F スタディ
④ SCT ⑤ バウム・テスト
- 6 () は、心的エネルギーの向かう方向によって、内向型と外交型の2類型に区分した。
- ① シェルドン ② シュプランガー ③ ユング
④ クレッチマー ⑤ ガレノス
- 7 うまく克服できない、不安を感じさせるような状況から逃れることによって不安を起こさせないようにする防衛機制を（ ）という。
- ① 退行 ② 逃避 ③ 投影 ④ 補償 ⑤ 昇華
- 8 クライアント中心療法は、問題を持った人の自ら解決し成長する力を信頼しそれを援助する考え方で（ ）によって提唱された。
- ① フロイト ② ユング ③ アドラー ④ クライン ⑤ ロジャーズ

- 9 ()は、遊びを中心とした心理療法で、主に言語表現が十分でない子どもに対して行われる。
- ① 遊戯療法 ② 箱庭療法 ③ 心理劇 ④ 自由連想法 ⑤ 内観療法
- 10 ()はソシオメトリーやサイコドラマを創始し「今・ここ」での相互作用の自発性や創造性を重視し、独自の人間理解の方法を模索した。
- ① ベック ② ヴント ③ モレノ ④ バンデューラ ⑤ セリグマン
- 11 古代ギリシャの哲学者で、人々に無知の知を自覚させるために「産婆術」という問答法を用いた人物は誰か。
- ① プラトン ② ロック ③ ルソー ④ ソクラテス ⑤ フレーベル
- 12 イギリスの経験論哲学者で、政治思想家である。人間の精神を白紙状態であるとする「白紙説（タブラ・ラサ）を主張した人物は誰か。
- ① フレーベル ② ポルトマン ③ コメニウス ④ コンドルセ ⑤ ロック
- 13 ティームティーチングを提唱した人物は誰か。
- ① デューイベック ② ケッペル ③ ヘルバルト
④ モンテッソーリ ⑤ シュタイナー
- 14 日本の陽明学の祖で、「近江聖人」といわれ、実学こそ真の学問の姿であると主張した人物は誰か。
- ① 中江藤樹 ② 伊藤博文 ③ 新島襄 ④ 福沢諭吉 ⑤ 吉田松陰
- 15 外交官として活躍し、明六社を創設し、『明六雑誌』を発刊した。後に初代文部大臣に就任した人物は誰か。
- ① 林羅山 ② 荻生徂徠 ③ 森有礼 ④ 伊藤仁斎 ⑤ 貝原益軒

教員養成講座 ① ー 解答解説 ー

- 【1】 1 ー ③ □ 六諭衍義・・・康熙 22 年（1683 年）、琉球の程順則が清の福州に留学した際に初めて接し、のち康熙 45 年（1706 年）に渡清した際、自費出版して琉球に持ち帰った。その後、享保 4 年（1719 年）3 月に薩摩藩主島津吉貴から将軍徳川吉宗に献上された。吉宗は室鳩巢に和解（日本語訳）、荻生徂徠に訓訳本の作成をそれぞれ命じ、徂徠の訓訳本は享保 6 年（1721 年）、鳩巢の和解『六諭衍義大意』は翌享保 7 年（1722 年）、それぞれ官版として上梓された[7]。江戸町奉行の大岡忠相は、吉宗の命を受け、江戸の著名な手習師匠を奉行所に招集して『六諭衍義大意』を与え、寺子屋での手習本として使用させた。
- 2 ー ② □ 肝高の阿麻和利（きむたかのあまわり）は、「現代版組踊」と称される、沖縄県うるま市の中高生による舞台。沖縄戦乱時代に勝連城の按司となった風雲児、阿麻和利の生涯を描く。
肝高は、沖縄最古の歌謡集「おもろさうし」にある古語で、「心豊か」「気高い」などを意味する。
- 3 ー ⑤
- 4 ー ③ □ 若草物語・・・平敷屋朝敏の作品。
- 5 ー ③
- 6 ー ①
- 7 ー ④
- 8 ー ④
- 9 ー ①
- 10 ー ⑤
- 11 ー ⑤ □ 羽地 朝秀（はねじ ちょうしゅう）は、琉球王国の政治家、歴史家。1650 年、琉球最初の正史、中山世鑑を編纂する。また、1666 年には摂政（しっしー）の地位につき、数々の政治改革を断行した。その時期の布達は『羽地仕置』として残されている。
唐名、向象賢（しょう じょうけん）。
- 12 ー ④ □ 混効験集（こんこうけんしゅう）
琉球語の古語の辞典。二巻。1711 年序。
尚貞の宣旨（せんじ）で識名盛命などによって編纂された。
- 13 ー ③
- * 擬古文体・・・国学者が好んで用いた文体。平安時代の語法、用語、文体を手本とし、それをまねたもので、文学、学問、消息文に多く用いた。
- 14 ー ②
- 15 ー ⑤

【2】 教育心理・教育史

- 1 - ③
- 2 - ⑤
- 3 - ①
- 4 - ②
- 5 - ④
- 6 - ③
- 7 - ②
- 8 - ⑤
- 9 - ①
- 10 - ③
- 11 - ④

□ ソクラテス…古代ギリシアの哲学者。

ソクラテスは対話を通じて相手の持つ考え方に疑問を投げかける**問答法**により哲学を展開する。その方法は自分ではなく相手が知識を作り出すことを助けるということで「**産婆術（助産術）**」と呼ばれている。

◇ 「**汝おのれ自身(の無知)を知れ**」——これはデルフォイの神殿の門柱に書き記されていたとされる。「神々の前では高慢になるな、身の程を知れ」というのが本来の意味だと考えられる——ということだった。すなわち、いわゆる知識人と呼ばれる人たちは、本当のことは何も知らないのに、何かを知っていると思い込んでいる。ところがソクラテスは、自分が本当のことを知らないということを知っている。彼は、ただその点で、自分がもっとも賢いと判断した。

◇「**無知の知**」…無知の知とは、自分は何も知らないが、何も知らないことを知っているということである。

- 12 - ⑤
- 13 - ②

□ **チーム・ティーチング**

複数の教師が一定の役割分担のもとに協力して同一の学級集団を指導する方式。教員組織の改編と授業の改造をねらいとする。**ケッペル**が提唱。

- 14 - ①
- 15 - ③

〈 参考文献 〉

- ◇ 『沖縄歴史人名辞典』 島尻地区小学校社会科研究会 沖縄文化社
- ◇ 琉球・沖縄『歴史人物伝』 新城俊昭 著 沖縄時事出版
- ◇ 2011 - 2015 年度検定 『沖縄歴史検定』 沖縄歴史教育研究会 東洋企画
- ◇ 沖縄の祭りと行事 比嘉政夫 著 沖縄文化社
- ◇ 2017・2018 版 これだけは知っておきたい 琉球・沖縄のこと 新城俊昭 著 沖縄歴史教育研究会